

令和9年度大阪府立中学校入学者選抜適性検査等配慮事項申請書

1 申請者				
ふりがな				
志願者名				
生年月日		年	月	日生
小学校等名				

2 志願先中学校				
志願先	大阪府立		中学校	
分野 (咲くやこの花中学校の志願者のみ)			ものづくり（理工）	
			スポーツ	
			言語	
			芸術（美術・デザイン）	

3 渡航歴等（本人の状況について具体的に記入する。）
○帰国時期、出入国履歴及び外国での学修歴を記入する。出入国の機会が多い場合には、出入国履歴及び小学校入学以降の学修歴を明記する。 2014年4月20日に〇〇で生まれ、2020年9月より現地校である△△ Schoolに就学した。父の仕事のため、2024年7月に来日し、2024年9月1日に〇〇市立■●小学校に編入した。2014年4月20日から2024年9月1日までの間、短期滞在を除いて日本への渡航歴はない。

※この申請は、大阪府立中学校入学者選抜を実施する大阪府教育委員会によって審査します。
この申請に係って提出された個人情報、大阪府教育委員会及び志願先中学校間で取り扱い、審査及び選抜に関すること以外の目的で使用することはありません。

様式B（日本語指導が必要な帰国児童等）

4 希望する配慮の内容（事前相談したうえで記入する。）				
☐	検査時間の延長（約1.3倍）			
☐	別室			
☐	キーワードの外国語併記	言語	〇〇語	
☐	漢字にひらがなのルビを付した検査問題等の使用		適性検査Ⅰについて	希望する
☐	辞書の持込み	辞書の言語	〇〇語	適性検査Ⅰについて 希望しない

5 学校所見欄	
〇編入時期、編入した学年、編入後の日本語の習得状況、日常生活で使用している言語の状況、支援内容等を詳しく記入する。	
2024年9月1日に本校小学4年生に編入学した。本校に編入した当初は、本人が日本語で意思を伝えることが難しい場面があったが、2024年10月より地域の日本語教室に週2回のペースで通いはじめ、また通級による日本語指導を通じて、少しずつコミュニケーションをとることができるようになった。 現在は、友人と日本語で会話する場面も見られ、積極的にコミュニケーションをとれるよう周囲が声かけをするなど、心がけている。 家庭内言語は〇〇語である。簡単な日本語のやりとりは可能であり、ひらがな、カタカナの読み書きはできる。漢字の習得については、小学校3年生程度である。	

【小学校具申】		令和		年		月		日
本申請について、上記のとおり相違ないことを具申します。								
小学校等名		校長名		印				
【市町村教育委員会副申】		令和		年		月		日
本申請について、上記のとおり相違ないことを副申します。								
教育委員会		教育長	印					